

2020年度

事業報告書

期間：自 2020年4月1日 至 2021年3月31日

社会福祉法人 江田島市社会福祉協議会



## 2020年度 社会福祉法人 江田島市社会福祉協議会事業報告書

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、政府が4月16日から緊急事態宣言を全国に拡大発令したことを受け、本会においても、通所介護サービスを中心に多くの事業を年度当初は中止、縮小することとなり、当初の事業目標を達成することができませんでした。そのため、法人経営面においては、収入の減少に対応するため、積立金の取崩等を行いました。

しかし、広島県では5月14日に、全国では5月25日に緊急事態宣言が解除された後は、新型コロナウイルス蔓延下において、福祉サービスは、要支援者等の生活を支える上で欠かせないものであり、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金等を活用し適切な感染防止対策を行った上で、各福祉サービスを実施するとともに、事業継続計画（BCP）の整備・感染対策マニュアルの見直し・Webによる研修・会議への参加や設備整備等にも積極的に取り組みました。

そして、「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」の実現に向けて、地域住民・行政及び関係機関等と連携し、役職員一丸となって事業を展開しました。

国が推進する「新しい生活様式」に沿い新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、2020年度事業計画に基づき実施した事業の実績を、次のとおり項目別に報告します。

### 1 法人運営と組織機能強化

#### (1) 事務局体制・各事業の効率的な運営の推進

##### ア 理事会・評議員会の開催

今年度の開催は、以下のとおり。（議案は全て可決・承認）

	開催日時	主な議案
監事会（第一回）	令和2年5月21日 （木）9：00開会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年度事業報告について</li> <li>・2019年度決算について</li> </ul>
理事会（第一回）	令和2年6月2日 書面決議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年度の事業報告及び決算の承認について</li> <li>・2019年度の会計および業務監査報告</li> <li>・物品購入指名競争入札の執行について</li> <li>・物品購入指名競争入札に係る指名業者の決定について</li> <li>・評議員候補者の推薦について</li> <li>・評議員選任・解任委員会の招集について</li> <li>・第四次地域福祉活動計画について</li> <li>・第1回定時評議員会について</li> <li>・会長の職務執行状況の報告について</li> </ul>

評議員選任・解任 委員会（第一回）	令和2年6月4日 （木）10：00 開会	・評議員の選任について
評議員会（第一回）	令和2年6月18日 書面決議	・2019年度の事業報告及び決算の承認について ・2019年度の会計および業務監査報告 ・第四次地域福祉活動計画について
理事会（第二回）	令和2年11月17日 （火）10：00 開会	・会長の職務執行状況の報告について ・2020年度一般会計資金収支補正予算（第1号）案について ・物品購入指名競争入札の執行について ・物品購入指名競争入札に係る指名業者の決定について ・第2回（臨時）評議員会の招集について
評議員会（第二回）	令和2年12月3日 （木）10：00 開会	・2020年度 事業報告（上半期）について ・2020年度一般会計資金収支補正予算（第1号）案について
理事会（第三回）	令和3年3月12日 （金）10：00 開会	・会長の職務執行状況の報告について ・2020年度一般会計資金収支補正予算（第2号）案について ・給与規程等の一部改正について ・ふれあいサロン事業に関する規程及びお茶の間サロン事業に関する規程の一部改正について ・高額療養費資金貸付規程の廃止について ・2021年度事業計画（案）について ・2021年度一般会計資金収支予算（案）について ・評議員選任・解任委員会の委員の選任について ・物品購入指名競争入札の執行について ・物品購入指名競争入札に係る指名業者の決定について ・役員等賠償責任保険契約について ・第3回（定時）評議員会の招集について
評議員会（第三回）	令和3年3月29日 （月）10：00 開会	・規程の改正等について ・2020年度一般会計資金収支補正予算（第2号）案について ・2021年度事業計画（案）について ・2021年度一般会計資金収支予算（案）について

- イ 事務局・組織機構の強化を目的とした、各種会議の開催
- (ア) 職員会議…事務局・各係及び事業所責任者による各事業の月次報告・協議、事故・ヒヤリハット・苦情等の情報共有  
(4/9, 5/9, 6/5, 7/3, 8/2, 9/9, 10/5, 11/6, 12/8, 1/7, 2/5, 3/4)
- (イ) 衛生委員会…職員の安全衛生に関する事項の審議調査及び推進  
(4/9, 5/9, 6/5, 7/3, 8/2, 9/9, 10/5, 11/6, 12/8, 1/7, 2/5, 3/4)
- (ウ) 在宅介護事業会議…サービスに関する法制度への対応や新型コロナウイルス感染症・台風等への対応についての協議や伝達研修の実施  
(6/22, 7/13, 8/24, 9/28, 10/26, 11/24, 12/21, 1/25, 2/22, 3/22)

- ウ コンプライアンス推進のための苦情・事故等への取組  
各事業で発生した苦情・事故・ヒヤリハット等について、組織全体での定期的な共有や原因分析・対策を行い、再発防止に努めた。

(ア) 苦情報告

苦情等の内容区分	件数	備 考
◆サービスに関する事項	7件	◆その他の事項詳細 ・職員の対応 1件 ・特例貸付緊急小口資金事務手続き対応 1件
◆個人の嗜好・選択に関する事項	0件	
◆制度施策法律に関する事項	0件	
◆その他の事項	2件	
合計	9件	

(イ) 事故発生状況

事故内容 (介護)	件数	事故内容 (車両)	件数
◆転倒・転落	5件	◆物損事故 (同乗有)	3件
◆誤嚥	0件	◆物損事故 (同乗無)	10件
◆表皮剥離・皮下出血	2件	◆人身事故	0件
◆薬関係	1件	合計	13件
◆ずれ落ち	0件	同乗有3件のうち、2件はご利用者様が同乗し、1件は職員が同乗していたが、3件ともケガなし。	
◆その他	1件		
合計	9件		

(2) 人材育成による高品質のサービス提供体制の推進

ア 資格取得促進

社会福祉士・精神保健福祉士等の職務に必要、有益となる資格の取得を奨励することを目的として、資格取得支援助成金を支給した。2020年度の資格取得及び助成金支給は以下のとおり。

資格名	資格取得職員数	支給金額
社会福祉士	4人	30,000円/人
介護福祉士	5人	20,000円/人

イ 正職員登用

サービスの質の向上や職員の定着促進を目的とした正職員登用制度を積

極的に実施した。2020年度は、「育児が落ち着いて時間の余裕ができた」「資格を取得したので生かしたい」等の理由で正職員として働くことを希望する職員を対象に、個人面談を行い、介護福祉士の資格を取得した準職員1名を訪問介護事業所正職員（サービス提供責任者）として登用した。

#### ウ 外部研修会への参加支援・オンライン（ネット配信）研修の推進

職員個々人の能力や専門性の向上のため、オンライン研修を含む外部研修会への参加を支援した。更に、職員会議や事業所ミーティングにおいて、研修参加者がフィードバック研修を行い、職員全員が最新の情勢・知識・技術を習得する機会を設けた。2020年度は、コロナ禍により研修会が開催されない状況が続いたため、ネット配信研修の年間契約を行い、事業実施に必要な研修を、事業所内でいつでも自由に受講できるように支援した。

##### (ア) 総務課

社協経理研修（1日）、会計基準実践的基本講習研修（動画配信）

##### (イ) 地域福祉課

###### a 地域福祉係

コロナ禍における地域福祉活動推進プロジェクト（1日）、地域支え合いセンター課題別研修（1日）、地域共生社会推進セミナー（1日）、地域の支え合いコーディネート機能化研修（2日）、生活支援体制整備事業研修会（1日）、地域の支え合いコーディネート機能化研修（2日）、市町地域支えあいセンター管理者研修（1日）、被災者生活SVN運営研修（1日）、広島県被災者生活サポートボランティアセンター運営者養成研修（1日）、福祉教育推進セミナー（オンライン）、地域人材確保推進体制整備事業合同会議（オンライン）、『共生型サービスはじめの一步』（オンライン）

###### b 生活福祉係

相談支援従事者初任者研修（オンライン研修）、かけはし専門員研修（1日）、相談援助技術向上研修（1日）、地域支え合いコーディネート機能強化研修（2日）、中核機関体制整備に向けた市町研修（1日）、成年後見制度実務者研修（1日）

##### (ウ) 在宅福祉課

###### a 居宅介護支援事業所

介護支援専門員研修更新専門員研修（3日）、主任介護支援専門員研修（3日）、法令遵守・個人情報プライバシー保護・倫理研修（1日）、広島県介護支援専門員更新専門員研修Ⅱ（4日）、主任介護支援専門員研修（8日）、中堅・管理職員合同研修会（オンライン）、実務研修実習指導者養成研修（オンライン）

###### b 自立支援センター

就業支援基礎研修（3日）、サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者基礎研修（2日）オンライン、発達障害基礎研修（動画配信）

###### c のうみ通所介護事業所

「災害時・緊急時対応」短期専門講習（1日）

###### d 訪問介護事業所

強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）（2日）、ICT（介護ソフト）がもたらす効果研修（オンライン）、『業務改善から考える介護ロボ

ット・ICT導入セミナー』（オンライン）、『介護の業務分化導入セミナー』（オンライン）、『中四国ブロック災害支援セミナー』（オンライン）、『リスクマネジメント研修』（オンライン）、『特定事業所加算で実現できるこれからの訪問介護事業所』（オンライン）

(3) 「働き方改革」に沿った、労働関係整備・職員健康確保の推進

ア 年次有給休暇の取得率向上

昨年度から年次有給休暇付与日数10日以上の職員に対し、年5日分の有給休暇取得が義務付けられた。対象職員全員が確実に取得できるよう、有給休暇取得状況を随時確認し、毎月の職員会議において取得の働きかけを行ったり、各事業所責任者と勤務調整の協議を行ったりした。2020年度も対象職員全員が確実に取得することができた。

イ ハラスメント防止

令和2年6月から職場におけるハラスメント防止対策が強化され、パワーハラスメント防止措置が義務化された。それを受け、ハラスメント防止の規定を設け、相談窓口の設置等必要な体制を整備した。

(4) 災害等緊急時に備えた職員の配置体制や事業継続計画（BCP）の整備

ア 事業継続計画（BCP）の整備

災害及び感染症の発生時において、権利擁護や介護保険・障害福祉サービスなど市民の皆様の生活に直結する業務を継続するため、行動基準や実施事項を定めた災害時BCP及び感染BCPを策定した。

イ 新型コロナウイルス感染症予防対策の徹底

新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大により、令和2年4月には「感染拡大警戒宣言」が発令された。広島県では、県民向け・事業所向けに外出自粛・他者との接触機会の低減などの要請があり、これを受け、法人全体の新型コロナウイルス感染対応マニュアルを作成した。内容は、下表のとおり。

項目	内容
1 職員の感染予防策の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の自己管理及び報告の徹底</li> <li>・事業所内の感染予防策の徹底</li> </ul>
2 患者発生時の患者、濃厚接触者への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染者発生 の把握、報告及び周知</li> <li>・濃厚接触者の確定及び対応</li> </ul>
3 施設設備等の消毒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染者が勤務した区域の消毒</li> </ul>
4 業務の継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要業務の継続</li> <li>・休業補償</li> </ul>

国や県・関係団体が発表する感染症発生動向や症状・治療法等の情報が随時更新されており、これら最新の情報に加え、広島県の感染症発生動向等の情報を元にマニュアルを随時改訂し、職員へ周知徹底した。また、衛生用品を専門的に取り扱う販売業者と新しく取引を行う等により、マスク・アルコール消毒液・プラスチックグローブ等事業継続に必要な衛生用品の安定的な確保を図った。このほか、飛沫感染予防のためのアクリル板の購入・設置や室内換気時に虫の侵入を防ぐための網戸の設置等の整備を行い、利用者・職員の感染予防・安全確保に努めた。

## 2 地域福祉事業の推進

### (1) 権利擁護事業

「権利擁護センターえたじま」では、判断能力が低下した高齢者や障がい者の権利と財産を守り地域で安心して暮らすことができるよう、成年後見制度に関する相談から申し立て、受任まで一貫した支援を実施し、福祉サービス利用援助事業により、日常的金銭管理の支援、福祉サービス等の利用の相談支援を行った。

ア 法人による成年後見事業

イ 福祉サービス利用援助事業「かけはし」

ウ 弁護士による無料法律相談会 【R2/ 7/11 相談件数 11 件】

【R2/11/ 7 相談件数 9 件】

【R3/ 3/ 6 相談件数 11 件】

実績は別紙のとおり (P26～P27)

### (2) 心配ごと相談事業

市内各地区において、心配ごと相談員（地域の民生委員・人権擁護委員・行政相談員等）が、住民の日常生活における困りごとの相談に応じた。

◆令和3年3月31日現在の心配ごと相談員数 25人

	江田島	能美	沖美	大柿	合計
開催回数	9回	10回	9回	9回	37回
相談件数	6件	9件	2件	12件	29件

(前年度 52 件)

### (3) ふれあいサロン事業・お茶の間サロン事業

地域住民同士が年齢も性別も関係なく、サロンでの交流を通じて、「仲間づくり」「生きがいくくり」「健康づくり」が図れるよう、サロンの運営や新規立ち上げを支援した。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、サロン活動の自粛依頼や、安全に活動を再開するための運営支援を行った。

ア ふれあいサロンの運営支援

訪問等による状況把握、専門職による健康・防災等の出前講座を行う等、サロン活動の支援を行った。また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、以下を実施した。

(ア) 活動自粛の依頼及び自粛期間中の支援

(イ) 6月・12月にサロン通信を発行し、安全に活動を再開・継続するための感染予防に配慮した運営の支援を行った。

◆3密を避け、感染予防対策を講じたサロン活動の様子



イ お茶間サロン（常設型）の運営支援

大柿町柿浦地区を対象とした「お茶の間サロン笑福亭」の運営を支援した。また、大柿町飛渡瀬地区のお茶の間サロン「地域サロンくじら堂～よりんさいや～」について、サロンの立ち上げ支援を行った。各お茶の間サロンについて、サロン定期訪問の他、月に1回世話人会議へ参加し、サロンの運営やサロン及び地域の課題把握・解決に向けた取り組み支援を行った。

◆世話人会議の様子

お茶の間サロン笑福亭



地域サロンくじら堂～よりんさいや～



ウ 2020年度サロン代表者交流会の開催

日時及び場所は以下のとおり。能美地区と沖美地区は共同開催。

(江田島地区)

11/25 (水) 13:30～15:40 小用コミュニティセンター3階

(能美・沖美地区)

11/30 (月) 13:30～15:40 わくわくセンター2階

(大柿地区)

12/2 (水) 13:30～15:40 大柿老人福祉センター2階

内容は以下のとおり。講演②及びグループ協議は全地区共通。

講演①

(江田島地区) (大柿地区)

「コロナ禍における地域福祉活動のすすめ

～コロナ禍でも繋がり続ける地域づくりに向けて～」

講師：広島県社会福祉協議会 地域福祉課

松井寛泰氏 (江田島地区)

武田麻子氏 (大柿地区)

(能美・沖美地区)

「東広島市のサロン自慢」

講師：東広島市高屋地域 地域サロン「陽だまり」

蔵永 千栄氏, 小平 幸子氏

東広島市社会福祉協議会 地域福祉課

山本 公仁子氏, 前田 あずさ氏

講演②

「買い物支援や見守り活動の取り組み紹介」

講師：生活協同組合ひろしま

グループで意見交換・交流

(4) ボランティア事業（えがおえたじま応援センター）

江田島市社会福祉協議会ボランティアセンター（愛称「えがおえたじま応援センター」）において、ボランティア活動の普及・推進や市民に向けた福祉教育等、幅広く事業を実施した。

◆令和3年3月31日現在のえがおえたじま応援センターボランティア登録  
総数 95名〔内、ボランティアセンター活動のみ：7名〕  
〔内、しおかぜボランティア活動のみ：20名〕

ア 第2回えがおえたじま応援センター運営会議の開催

日 時：令和2年9月10日（木）10：00～11：45

場 所：わくわくセンター2階（農業研修室）

参加者：ボランティアセンター運営委員12名

内 容：委員長・副委員長の選出，令和元年度の実績報告  
研修「社協とは，えがおえたじま応援センターとは（組織運営，  
事業内容，実際の活動について）」



イ ボランティア講座 ～オリーブ収穫体験～

オリーブ収穫体験を通して市民のつながり作りをすると共に，ボランティアの担い手を発掘し，ボランティアについて知ってもらう。

日 時：令和2年11月3日（火）10：00～12：00

場 所：小用港のモデル園

参加者：24名（コーディネーター2名，職員2名を含む。）

内 容：オリーブ収穫体験を行った後，オリーブの塩漬け作りとアレンジメニュー（カップスープを使用）の試飲を行う。

参加者の感想や意見：

- ・収穫体験も楽しかったし，子供たちとも交流できてよかった。
- ・最後にボランティアについての話の中で，「ボランティアはできる範囲で楽しくやるのが大切」と話してもらったことがとても印象に残っていて，これからボランティアをする中であまり深刻に考えずに思い切ってやることも大切だと感じた。

◆オリーブの収穫



◆塩漬け作り・試飲



#### ウ しおかぜネット（オール広島ささえあいネット）事業の推進

住民同士の繋がりや支え合う関係づくりを目的とした住民互助活動として、生活上の「ちょっとした困りごと」を抱えた住民の解決のお手伝いを、登録ボランティア（しおかぜさん）によって行った。

4月～5月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「ゴミ捨て」「草取り」等の3密にならない活動と、生活に直接関わる活動のみを行い、その他の活動は休止した。6月初旬には全活動再開に向けた協議を行い、活動前の検温や活動中の定期的な換気の実施等の感染症対策を徹底しながら、「掃除」や「話し相手」等の活動も再開した。

2020年度は、介護保険を利用する一歩手前の方が、掃除や洗濯など利用する傾向にあった。今後も同様のケースが増加すると予想される。

依頼の多い内容：ゴミ捨て、掃除、外出・通院付き添い、洗濯。

実績は別紙のとおり (P28)

#### エ 江田島市被災者生活サポートボランティアネットワークの推進

災害発生時の被災者の生活支援等のため、平常時からのネットワークを作り、災害ボランティア活動や被災者支援に係る協議を推進してきた。新型コロナウイルス感染拡大により、定例の推進会議の開催は中止し、書面による情報共有等を行った。

##### (ア) 新型コロナウイルス感染症に対応したマニュアル整備

令和2年7月豪雨災害では、新型コロナウイルス感染症対策に留意した被災者生活サポートボランティアセンターの運営が課題となっていた。広島県においては、県社協から「コロナ禍における災害ボランティアセンター運営マニュアル（ガイドライン）」が示され、このガイドラインを参考に、既存のマニュアルを改編中である。

##### (イ) ITを活用した被災者生活サポートボランティアセンターの運営

広島県社協は、ボランティアセンターの運営にIT（クラウド）を活用することで、活動者の受付・活動調整等の運營業務の円滑化や県内市町との情報共有の効率化が図れるよう、サイボウズ(株)と協定を結んだ。現在は、江田島市を含む県内8市町と協働し、令和3年6月の出水期までの実用化に向けて、システム開発を進めている。

#### オ 小中学校における福祉教育の支援

高齢者福祉・障がい者福祉の基礎や江田島市の福祉の現状等についての座学や、高齢者疑似体験・車いす操作実習・地域のサロン活動への参加等のプログラムを通じて、生徒に「思いやりの心」と「ふくし」の芽を育む事を目的に、市内の小中学校において、福祉教育の支援を行った。

##### (ア) 中町小学校 4年生20名、ボランティア2名

7/17(金) 座学「ふくしについて」、高齢者疑似体験、車いす体験

11/6(金) 座学「赤い羽根共同募金について」、募金箱づくり

11/20(金) 赤い羽根共同募金の街頭募金（中町港）

##### (イ) 切串小学校 4年生10名、ボランティア3名

8/31(月) 座学「ふくしについて」、高齢者疑似体験

9/14(月) 高齢者疑似体験・車いす操作説明及び体験（校外）

10/12(月) 座学「ユニバーサルデザイン」、福祉車両の見学

10/19(月) 座学「赤い羽根共同募金について」、募金箱づくり

- 10/26(月) 赤い羽根共同募金の街頭募金 (切串港)
- 11/9(月) 座学「視覚障害・点字」, アイマスク体験, 点字体験
- 11/16(月) 座学「ふれあいサロンについて」, レクリエーション体験
- 11/26(木) ふれあいサロン訪問 (もも組)
- 3/10(水) 障がい者スポーツ(ボッチャ, カローリング, 卓球バレー)
- 3/17(水) 座学「ボランティア」, ボランティア活動(ゴミ拾い)
- 3/22(月) 1年間の総まとめ
- (ウ) 江田島小学校 4年生 40名
- 12/11(金) 座学「ふくし・ユニバーサルデザイン」, 高齢者疑似体験, 車いす体験

◆座学



◆高齢者疑似体験



◆車いす操作体験



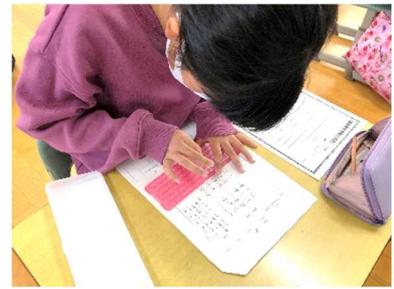
◆街頭募金



◆アイマスク体験



◆点字体験



◆サロン訪問(もも組)



◆障がい者スポーツ(ボッチャ)



◆ボランティア活動(ゴミ拾い)



カ 民生委員児童委員協議会における福祉教育の支援

江田島市内の民生委員活動中に起きた事例を基に、高齢者の身体的な特徴から高齢者の対応方法を学んでもらった。

- (ア) 沖美町民生委員児童委員協議会 民生委員児童委員 10名  
6/23(火) 座学 (高齢者の身体的特徴について)・高齢者疑似体験
- (イ) 能美町民生委員児童委員協議会 民生委員児童委員 22名  
9/9(木) 座学 (高齢者の身体的特徴について)・高齢者疑似体験

◆高齢者疑似体験の様子



(5) 地区社協におけるボランティア活動の支援

江田島町13地区で実施している友愛訪問・給食配膳・敬老事業等について、事業の助成をする支援を行ったほか、新型コロナウイルス感染症の流行状況に応じて、活動中止や再開を依頼した。活動再開に際しては、「マスク着用・アルコール消毒、玄関先・外での対応に限定、手作り弁当から市販の弁当等への変更」等の感染防止対策について説明を行い、可能な地区では活動に同行し、感染症対策等についての状況調査を行った。また、「会食・茶話会実施の注意点」をまとめたガイドラインを配付し、開催の伺いがあった場合には、地域情勢を検討したうえで実施を促した。

◆新型コロナウイルス感染拡大防止対策を配慮した活動の様子



(6) 高齢者介護者の会（クローバーの会）の支援

介護者同士が普段抱えている思いや課題などの情報交換（勉強会含む）や、心身のリフレッシュ等を目的とした集いに対して支援を行った。参加者は介護者OBが多くなっているが、一つの茶話会の場となり、近況など情報交換している。毎月第三土曜日に能美保健センター開催し、毎回概ね15人程度が参加した。代表者の退任をきっかけに、今年度で解散する方向になったが、2/20(土)に参加者による協議を行った結果、代表者を複数名置き、活動を継続していくことになった。（生活支援コーディネーター2名で参加）

◆2/20(土) 協議の様子



## (7) 安心生活創造推進事業

### ア 「小地域テーブル会議」の開催

地域内のニーズ掘り起こしや、見守り支援方法・買い物支援方法を検討するため、自治会、民生委員、老人クラブ、女性会等の地域関係者による小地域テーブル会議を開催した。4月～5月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため会議等の活動は中止し6月から実施したが、「新型コロナウイルス感染症が流行している間、会議開催をしない方針」といった地域もあり、話し合いが出来ない地域もあった。

(ア) 地域における主な小地域テーブル会議 17回（秋月地区・中町地区・中郷地区・鷺部地区等）

(イ) 各町（地区含む）民児協定例会や各地区自治会連合会・老人クラブ連合会・女性会連合会等におけるテーブル協議 14回

#### ◆小地域テーブル会議の様子（情勢に応じて一部、屋外で開催）



### イ 「えたじま見守り支援ネットワーク」の推進

地域内で、普段からの関わりや繋がりが薄く孤立しがちな方や引きこもりがちな方に対し、見守り支援員による安否確認・声掛け訪問等の活動を実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、訪問による見守りを中止し、電話による見守りを行った。直接訪問しなければ関わりが難しい方に対しては、インターフォン越しや、玄関先で距離を取ったうえでの活動となった。

令和2年夏季以降は、見守り対象者・見守り支援員双方への意向を確認し感染予防対策を講じたうえで、段階的に活動を再開した。

◆令和3年3月31日現在の利用者人数：12人

見守り支援員：33人（うち活動者：16人）

#### ◆見守り訪問の様子（令和2年夏季以降）



### ウ 江田島市買い物支援事業

近隣に商店等がなく買い物弱者がいる地域に向けて、移動販売車で出向き、買い物ニーズの充足だけでなく、高齢者や障がい者等の引きこもり防止、繋がりの場づくりを目指して実施した。移動販売での購入が難しい場合

には宅配で対応した。

今年度は、小用地区で新たに移動販売事業を開始した。新しく始まる地区・場所がある一方で、柿浦地区や鷺部地区では、買い物客が減少しており、今後は、場所の変更等を検討する必要がある。

実績は別紙のとおり (P29)

◆移動販売場所の様子 (写真は小用地区と沖美町沖地区)



(8) 社会福祉士養成に係る相談援助実習

江田島市に長期滞在しながら、社会福祉士としての相談援助にかかる知識と技術を総合的に体得するための実習指導を実施した。

実習生：広島国際大学 医療福祉学科3年生 3名

川崎医療福祉大学 医療福祉学科3年生 2名 計5名

期 間：令和2年8月28日～9月24日 計24日間

対象地域：能美町中町地区 他

- 実習内容：
- ・障がい者や高齢者等の相談支援・プランニング (個別支援)
  - ・専門職や地域活動組織へインタビュー
  - ・地域アセスメントから小地域福祉活動計画の企画立案
  - ・実習報告会での小地域福祉活動計画の発表 他

◆精神保健福祉士にインタビュー ◆中町地区を地域踏査 ◆地域サロン「くじら堂」参加



(9) 無料職業紹介事業

ハローワークの求人情報を活用して、仕事を探している方と人材を求める事業所の上に立ち、それぞれのニーズの把握に努めながら就労支援を行った。また、地域人材確保推進事業との連携をとることで事業の周知を図った。

求職者数	求人数	求人倍率	相談件数	紹介件数	就職件数
114人	206人	1.80倍	1,164件	115件	54件

※求職者数、求人数、求人倍率は、令和3年3月31日現在の有効分を、相談、紹介、就職件数は年度合計を示す。

(10) 緊急通報システム業務事業（旧江田島市光回線を利用した見守りサポート事業）

平成 26 年度に配備された光回線を利用し、高齢者・障がい者単身世帯の中で、身近な親族・親戚等が遠方にいる者に対して機器を設置し、生活状況をメールや Web 上で確認・見守り出来るサービスを実施した。2020 年度は、江田島市委託事業から社協独自事業へ移行した。

◆ 令和 3 年 3 月 31 日現在の利用者数：3 名

### 3 委託事業の推進

#### (1) 障害者生活支援センター事業

障がい児・障がい者ひとりひとりの状況に寄り添い、生活全般についての相談に応じ、障害福祉サービスや医療の他、社会資源等につなげる支援を保健・福祉・医療・教育・就労支援機関等と連携し実施した。障害支援区分認定調査を受託し実施した。

##### ア ピアカウンセラー養成講座

###### (ア) ぱすてるの会（毎月第 4 土曜日）

主として身体障害のある仲間同士が集まり、日常生活に関する相談をお互いに協議しながら交流を深めた。5 分間スピーチをもとに話を聞き合うことで、ピアカウンセリングの基本となることを目指した。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から 4 月、5 月は開催できなかった。年 10 回開催し、延べ 74 名の参加があった。

###### (イ) ピース（隔月第 3 土曜日）

知的、精神、身体に障害のある仲間同士が同じ目的のために集まり、お互いの障害を理解し交流を深め、協力しながら、「やってみたい」を実現できる場として開催した。地域行事への参加やスポーツ等に取組んだ。江能福祉会と合同でぱすてるとして開催をした。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から 5 月は開催できなかった。年 3 回開催し、延べ 42 名の参加があった。

###### (ウ) ぴあサポートサロン（隔月第 3 土曜日）

知的、精神、身体に障害のある仲間同士が気軽に集まりお互いの障害を理解し交流を深めるため、誰もが楽しみながら過ごすことができる場として開催した。江能福祉会と合同でぱすてるとして開催をした。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から 4 月は開催できなかった。年 5 回開催し、延べ 54 名の参加があった。

##### イ 社会生活力を高める講座

「パソコン教室」「裁縫教室」「健康づくり教室」「元気アップ教室」と、生活に密着したスキルや知識の向上を目指すきっかけとなる場として内容によっては外部から講師を招き開催をした。4 回開催をし、延べ 48 名の参加があった。

##### ウ 理解促進研修・啓発事業

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、年 2 回を計画していたが 1 回のみで開催となった。支援者や関係機関担当者を対象として、「意思決定支援と権利擁護」と題し、講演会を開催した。38 名の参加があった。障がい者の権利擁護について理解を深め、意思決定支援の定義とともに、専門職として障がい者自身の持つ知識や情報を補い、意思を汲み取る工夫や

プロセスを学んだ。

実績は別紙のとおり (P30)

## (2) 生活困窮者支援事業

既存の制度や機関では十分に対応できない生活困窮者に対して3事業を通して包括的に受け止め、本人の尊厳と意思を十分尊重しながら、どのような支援が必要か把握し、自立のための支援計画を策定し、適切なサービスや関係機関につなげた。

### ア 生活困窮者自立支援事業

総合相談窓口として、様々な相談を受けた。今年度は丁寧なアセスメントと、課題分析を行い、事業所内での支援方針の共有を図った。結果、自立支援相談プランの作成の他、他機関との協働支援が実施出来た。課題は生活困窮者自立支援事業を通じての地域作りまで至らなかった。

### イ 家計改善支援事業

税金滞納や公共料金支払い、負債の相談を受け支援をした。支援者が指導をするのではなく、本人が主体となって取り組めるように支援を心掛けた。

### ウ 就労準備支援事業

直ちに就労が難しい人(生活リズムが崩れている、社会との関わりに不安がある、就労意欲がわからない)を対象に、就労体験や面談等を通して生活リズムの改善を図った。

### エ 新型コロナウイルス感染症による影響を受けた困窮者支援

コロナ影響を受けた方への特例貸付を通して、貸し付けを実施するとともに家計状況の見直しの支援を行った。コロナ影響は現在も続いており、転職をされた方は収入が安定してきているようだが、転職をされていない方に関しては現在もコロナ影響を受けている方が多く、支援は継続している。

#### 複数の課題を持ったクライアントに対する就労支援 (1例)

##### 【概要】

- ・50歳代、男性。 ・失業中。
- ・漠然と不安があり、自分で何をすべきか定まらず、他者への依存がある。(過去に精神科へ受診したことがあるが、自己判断で通院、服薬を中止した。)

##### 【支援内容】

- ・こころの健康相談に繋ぎ、精神科へつながった。
- ・精神科への通院が定着するまで通院同行をした。
- ・就労準備支援事業を通して、以下の社会的自立の訓練を実施した。
- ・ボランティア活動をすることで、就労意欲を高め維持できた。履歴書には無職時のエピソードが書けた。
- ・採用面接の練習をした。

##### 【支援結果】

正社員として、企業に採用された。採用されてからも通院、服薬は続いている。経済的困窮の自立支援をするためには、就労支援をするだけでなく、医療に繋げるなど、他領域の支援が必要。

実績は別紙のとおり (P31)

### (3) 地域包括支援センターランチ事業

#### ア 地域包括支援センターランチ事業

##### (ア) 総合相談支援

能美町・沖美町（三吉・高祖・美能地区）における高齢者の総合相談対応を行った。また、月に1度江田島市包括支援センターとの連絡会議に参加し、困難事例の検討会や情報共有や連携体制の強化に向けて取り組みを実施した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言発令期間中は県内の感染レベルを考慮し、可能な範囲で訪問から電話による相談に切り替えた。直接訪問しなければ関わりが難しい方に対しては、3密を避け、玄関先で短時間の訪問により支援を行った。

##### (イ) 介護予防把握事業（令和2年9月1日～令和3年3月31日）

市内の65歳以上の高齢者で要介護認定（要支援1，2）を受けているものの、サービスを利用していない者を対象として、自宅を訪問し、困りごとや心配ごと等生活ニーズの把握を行った。また、必要に応じて介護予防教室や支援機関への繋ぎを行った。今年度の実施件数は17件。

##### (ウ) 介護予防の推進

介護予防教室、つどいの場（いきいき百歳体操）の活動支援を行った。また、つどいの場（百歳体操：えたじまんのつどい）での身体計測の介助について、6月1日に活動自粛が解除され、各グループの身体計測が順次再開となった。地域包括支援センター職員と協力し、参加者の身体計測の介助を行った。

#### ◆つどいの場への参加の様子



実績は、別紙のとおり（P32）

### (4) 生活支援体制整備事業

#### ア 生活支援体制整備事業

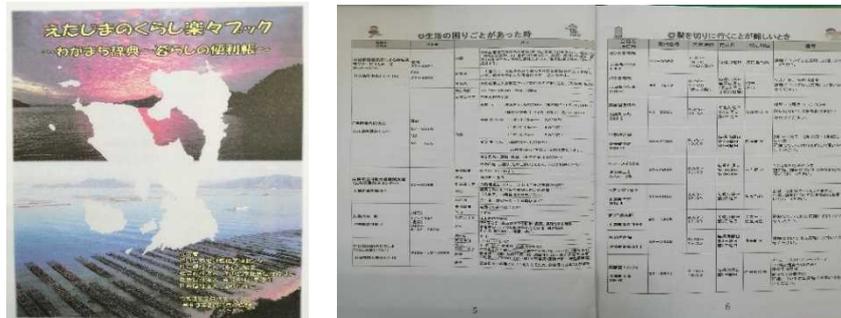
多様な生活支援・介護予防サービスの充実・新たな地域資源開発・地域住民や組織のネットワーク化を目的として、既存の小地域テーブル会議をベースに、地域にある「モノ（資源）探し」や地域課題を地域組織・住民と協議し、情報共有を行い、「話し合いの場づくり」（協議体づくり）を実施した。また、この協議体づくりは地域共生社会づくりを進めるきっかけにもなっており、地域住民や専門職と「自分達が住む地域を、これからどのようにしていくか？」等の話し合いを進めており、プラットフォーム化を推進している。

##### (ア) 社会資源等情報の整理

高齢者・障がい者が日常生活を送る上で必要な資源に関する情報を、

江田島市地域包括支援センター及び各圏域の生活支援コーディネーター（ブランチ）と協力し、市全体の調査・整理を行った。令和3年3月に「えたじまのくらし楽々ブック～わがまち辞典・暮らしの便利帳～」として、冊子を作成し、居宅介護支援事業所等の関係機関や、対象者へ配布した。

◆作成した冊子



(イ) 協議体の設置

地域の現状（あるモノ・課題等）について、地域組織・地域住民が話し合える場（協議体）を主に第3層域で設置・推進した。マッピングから地域踏査を行い、地域に見える化も行った。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2カ月程度協議体による活動を中止した。その後は、感染予防対策を徹底したうえで、活動を再開した。開催場所も、3密を防ぐため、施設内に限定せず、屋外でも実施した。

また、協議体で話し合った事を基に、江田島市危機管理課・保健医療課等とも協働し、地域活動支援や取り組みを実施した。

※協議内容・取り組みの一例：「地域内で気になる方について（孤立気味）」「災害時の土砂災害危険箇所や避難体制について」「買い物困難者について」「担い手について」「コロナ禍における地域の行事存続・再開調整について」等

◆コロナ禍での地域活動（防災含む）取り組みの一例

中郷地区（避難所開設シミュレーション・防災備品チェック・協議体）



鷺部地区（避難所開設シミュレーションや住民交流ウォーキング）



### 中町地区（防災研修：避難所の開設や非常食について他）



#### (ウ) 新型コロナウイルス感染症拡大によるニーズ対応

##### a マスク・消毒用品支援愛プロジェクト

新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大により、高齢者・障がい者や社会福祉施設等において、マスクや消毒用品が著しく不足する状況となり、市内でも衛生用品に対するニーズが多数見受けられた。チラシ等により市民に衛生用品の支援について広報した結果、市民から1,000枚を超えるマスク等の寄贈があった。市内の高齢者等にマッチングを行った。マッチング集計結果は以下のとおり。

(令和2年4月23日～令和2年6月23日活動分)

- ・消毒用品 受入数：5個 / 提供数：2個
- ・マスク 受付数：1,016枚 / 提供数：585枚

※余った物品は、コロナや災害等のための、備蓄品とする。

##### ◆マスク受け渡しの様子



##### b 地域活動中止・外出自粛に関わる困りごと相談カード

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、様々な地域活動が中止となり、人と人の接点が減少する中で、生活環境の変化から引きこもりがちとなったり、困りごとを抱えるようになったりした方が気軽に相談するためのツールとして、困りごとを記入するカードを作成し、サロンや自治会・民生委員等の協力を得て、対象者へ配付した。困りごと相談カードの受付対応数は以下のとおり

◆受付数：70件 / 対応数：6件

主な相談内容：野良猫対策・外出機会減少による家事支援・病気による介護相談や介護保険制度の利用申請手続き  
⇒新型コロナウイルス感染症に関連する相談以外に、日常生活の相談もあった。担当部署・専門機関に繋いだ。※令和2年9月以降は、受付なし。

##### c 地域福祉活動ガイドラインの作成

新型コロナウイルス感染拡大防止のポイント（3密の回避や飲食・調

理を実施する際の注意点等)を整理したガイドラインを作成した。ふれあいサロン参加者・地区社協・しおかぜ活動者・見守り支援員等に配付し説明した。

(エ) 自治会連合会・まち協・地区民生委員児童委員協議会定例会の参加  
定期的に会合に出席し、情報提供・意見交換などを行い、連携・協働の体制づくりに向けた働きかけを行った。

(オ) 発掘した住民活動・資源等の見える化

他地区における住民活動の普及啓発として、7/27(月)開催の能美町民児協研修会において、江田島町中郷地区の避難支援の取り組みを中郷地区まちづくり協議会の方に発表していただいた。災害発生時の地区住民の避難支援の概要説明及び意見交換等を行った。

◆当日の様子



(5) 江田島市地域支え合い事業(江田島市地域支え合いセンター)

※2020年度をもって事業終了

平成30年7月豪雨災害により罹災証明書を発行された世帯を対象に、個別訪問によるニーズ把握や相談支援・見守りを行い、必要に応じて他の専門機関等へ繋ぎ関係機関との連携を図った。また、過去の災害を教訓として「災害に備えた地域づくり」「普段から支え合える地域」を地域住民主体で作っていけるように、被災者・被災地域以外でも、話し合いや啓発活動、まち歩き防災の実施等の地域支援を行った。

ア 個別支援(相談対応等)

被災世帯に対する電話相談や訪問活動を実施した。センター開設から2年経過し、「不定期訪問」から「訪問必要なし」へ移行するケースも増えてきているが、降雨時や出水期にはメンタル不調・高ストレス状態となることも考えられるため、出水期(5月～7月)には全戸訪問を実施し、新型コロナウイルス感染予防対策等の避難時の注意点、対象者地域のハザードマップの説明を行った。また、今年度末で地域支え合いセンターを閉所するため、来年度以降も継続して支援が必要な方に対しては、専門職への引き継ぎを行い、ソーシャルサポートネットワークづくりを進めた。

相談員数	対象世帯数	支援回数
2名	71世帯	91回

イ 地域支援(地域づくり、地域住民意識醸成・啓発等)

生活支援体制整備事業と連動し、災害をきっかけにした地域づくりの取り組みを地縁組織・地域住民と共に進めた。

(ア) 活動(支援)回数:267回(複数集計含む)

(イ) 活動地域:秋月地区、中郷地区、鷺部地区、柿浦地区、中町地区

#### ◆柿浦地区での一時避難場所活用について協議



#### ウ 五者連携会議（事業総括会議含む）

江田島市福祉保健部（保健医療課・高齢介護課・子育て支援課・社会福祉課）と江田島市地域支え合いセンターの五者が集まった会議体により、今年度のセンター閉所後の支援体制等の検討・ケースの引き継ぎや、複合多重問題を抱える困難ケース支援について協議を行った。庁内連携の場として、今後も活用を進める予定である。

##### （ア）第一回会議

日 時：令和2年7月9日（木）10：00～12：00

出席者：12名

内 容：地域支え合いセンターの取り組みと方向性について  
被災者（訪問対象者）の情報共有

##### （イ）第二回会議

日 時：令和2年8月20日（木）18：00～20：00

出席者：12名

内 容：アセスメントシートの様式について  
対象者の同行訪問結果共有、現在の気になる方の情報共有

##### （ウ）第三回会議（閉所にかかる事業総括会議）

日 時：令和3年3月18日（木）13：30～14：30

出席者：13名

内 容：全県的な事業総括報告、事業総括報告、閉所に向けての確認事項等

#### ◆会議の様子



#### （6）地域人材確保推進事業・合同求人説明会事業等

ア 江田島市人材確保（介護人材確保含む）等総合支援協議会の開催

広島県社協、呉ハローワーク、江田島市商工会や行政の関係者で構成する「江田島市人材確保（介護人材含む）等総合支援協議会」を開催し、合同求人説明会や事業計画、無料職業紹介所の運営方法等について協議した。

日 時：令和2年7月27日（月）13：30～14：30

場 所：能美保健センター

関係機関：7機関 参加者：10名

イ 「えたじまの会社紹介フェア」事業

コロナ禍に配慮し説明会は実施せず、チラシの新聞折り込み、行政機関に配置、関係機関に送付による広報を実施した。事業者数は32法人。

ウ 人材確保の課題分析事業

「職場環境10分チェック、自己点検ツール」の活用を市内14法人に呼びかけ、5法人の協力を得た。点検結果を基にして専門講師をお招きし、課題の分析検討会を実施した。

日 時 令和2年2月4日（木）13：30～15：30

参加者 江能福祉会、誠心福祉会、いこいの里、地域福祉センター鹿川、江田島市社協

エ 「ティーチャーツアー2020」の事業協力

福祉業界への担い手確保・育成を目的として、大柿高等学校の進路指導教員と連携を図り、WEB会議等で情報を共有した。

オ 「ケアサポーター研修」

生活支援をテーマとした「ケアサポーター」説明会を開催し、医療福祉介護の複数法人から事業説明し、生活支援ボランティアを発掘した。令和2年10月17日に開催を計画し、チラシ配布等により募集したが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う非常事態宣言等が発令される等したことから中止した。参加申込者には個別に相談対応した。

カ 介護職員合同研修会

「認知症ケア」をテーマにして、市内の医療介護法人が合同で研修会を開催した。

日 時：第1回 令和2年9月17日（木）13：30～15：00

第2回 令和2年10月15日（木）13：30～15：00

第3回 令和2年11月19日（木）13：30～15：00

第4回 令和3年2月18日（木）13：30～15：00

場 所：大柿老人福祉センター

参加者：延べ52名（実人数19名）

キ 製鉄会社の閉鎖に伴う就職相談

日本製鉄株の閉鎖にともなって大量の失業者が見込まれる中、主に離職転職者を対象として、無料職業紹介所と連携して就職相談を実施した。

ク 社会資源マップ後援事業

市包括支援センターが主催する「社会資源マップ えたじまのくらし楽々ブック」作成事業を後援し、巻末にチラシ広告を掲載した。

#### 4 介護保険サービス事業等の実施

##### (1) 居宅介護支援事業

介護支援専門員10名により、要介護認定のための訪問調査の受託、居宅サービス計画の作成（ケアプラン）等居宅介護支援事業を実施した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、『新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策について』『新型コロナウイルス感染症に感染した利用者等が発

生した場合の取組』等のマニュアルを作成し実施している。利用者宅に訪問する際は前もって訪問の許可を得る、訪問時間が長時間にならないよう気を付ける、訪問前後の手指消毒、対面での会話は1m以上の距離を保つ等の対策を徹底した。また、事務所内では定期的な換気とPC・電話・複合機等の消毒を実施し、出勤前の検温、マスク着用、手洗い等を実施した。

新型コロナウイルス感染拡大を懸念し、ケアプラン上のサービス利用を控える利用者が十数名あり、4月～5月の実績が少なくなっている。また、サービス提供事業所の営業縮小・中止を受け、代替サービスの調整や、利用者・介護者の精神的なケアを行った。

実績は別紙のとおり (P33)

## (2) 訪問介護事業

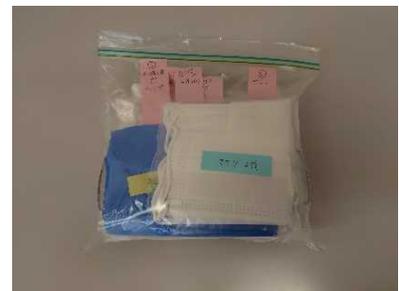
要介護者に対し、感染対策を徹底したヘルパーが訪問し、入浴や清拭等の身体介護や、掃除・洗濯等の生活援助サービスを提供した。また、定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスを実施している市内2施設から訪問介護サービスを受託した。

新型コロナウイルス感染拡大のため、BCPに基づいてサービス提供を縮小した影響があり、利用実績は大きく減少したが、徐々に利用者が増加してきた。

事業所ミーティングでは、新型コロナウイルス感染拡大に備えて作成した『新型コロナウイルス濃厚接触者等対応マニュアル』に沿って、濃厚接触者等へ訪問する際のPPE(個人防護具)の着脱練習をした。



◆PPE(個人防護具)の着脱練習



実績は別紙のとおり (P33)

## (3) 通所介護事業(能美福祉センター・大柿老人福祉センターで実施)

通所により、入浴、食事、機能訓練の他、歯科衛生士による口腔ケア等のサービスを提供した。4月～5月は、『新型コロナウイルス等発生時における業務継続計画(BCP)』に基づいたサービスを提供した。この間の利用回数・時間の減少により、身体機能が低下する利用者がおられ、事業所収益も減少した。その後、感染症予防に努めながら、通常通りの営業を実施した。

### 【新型コロナウイルス感染予防のための対策一覧】

職員：出勤前の検温、手洗い・消毒・マスクの着用の徹底

利用者：送迎時の検温・手指消毒・マスク着用の徹底

利用後：塩素による、テーブル・椅子・手すり・歩行器等を消毒

実績は別紙のとおり(能美、大柿) (P34)

(4) 福祉用具の貸与及び販売事業

車椅子・介護用ベッド等の福祉用具貸与や、ポータブルトイレ・入浴補助用品等の特定福祉用具販売を、介護機器販売業者とタイアップして事業を実施した。納品等で利用者宅を訪問する際は、マスク着用と訪問毎の交換・手指の消毒・設置する居室の換気を徹底した。要介護者の中には、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、通所介護や訪問入浴サービスを自粛する方があり、入浴補助用具（シャワーチェア・グリップ・浴槽台）等の注文が増加した。

実績は別紙のとおり (P35)

5 障害者総合支援法による障害者サービスの実施

(1) 計画相談支援・障害児相談支援事業

相談支援専門員4名によりサービス等利用計画（プラン）の作成等、特定相談支援・障害児相談支援事業を実施した。通常の計画、モニタリングに加え、新たに設けられた加算への対応を強化した。特にサービス提供時モニタリング加算に関し、357件（前年度227件）対応し、利用者の状況確認や支援内容の調整に努めた。また市内の障害児相談支援事業の新規受付が当事業所のみとなり児童のプラン件数が増加した。

実績は別紙のとおり (P36)

(2) 障害者居宅介護事業

障害がある方の居宅において、入浴、排せつ及び食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の家事並びに生活等に関する相談及び助言その他の生活全般にわたる援助を実施した。

実績は別紙のとおり (P33)

(3) 障害地域支援事業

ア 障害者日中一時支援事業（デイサービス）

障害があり、通所により、入浴、食事提供、機能訓練等の必要な方に対して、大柿通所介護事業所においてサービスを提供した。

実績は別紙のとおり (P34)

(4) 施設の運営（自立支援センターあおぞら）

ア 福祉事業活動として、就労継続支援B型、就労移行支援、生活介護を実施した。

イ 就労支援事業として、灯籠作り、貝殻通し、空缶回収、施設外就労、その他の作業を実施した。B型利用者が自信を持って意欲的に取り組める作業として、ペットフード用のいりこ選別作業を新規受託した。

ウ 今年度の就労移行支援では、一般就労者1名、トライアル雇用2名となった。支援内容は報告・連絡・相談練習、面接練習、作文練習、タイピング練習、職場実習等。トライアル雇用は3カ月間なので、終了して正式雇用となれば、来年6月に2名の一般就労実績となる。今後は就労後のアフターフォローとして定期面談やメール相談等を行うことで、就労定着者（6カ月以上就労した者）70%以上を目指していく。

実績は別紙のとおり。(P37)

## 6 貸付事業

### (1) 生活福祉資金の貸付事業

ア 低所得世帯の自立更生を促進するため、必要な資金を貸し付けた。

年度当初貸付件数	新規貸付件数	償還免除件数	償還終了件数	R3.3月末貸付件数
6件	0件	0件	0件	6件

イ 緊急小口資金等の特例貸付

コロナ禍の影響を受け、収入減・失業となった生活困窮者に対し、緊急小口資金や緊急総合資金を貸し付けた。

#### 【各種特例貸付要件等】

	小口貸付	総合貸付	総合延長貸付	総合再貸付
貸付対象者	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸し付けを必要とする世帯。	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯。	総合支援資金貸付後、3か月目において引き続き新型コロナウイルスの影響により日常生活の維持が困難となっている世帯。自立相談支援機関の支援を受けることが必要。	緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付を利用が全て終了した上で、生活のお困りの場合、自立相談支援機関による支援とともに、総合支援資金の再貸付を行う。
貸付上限	学校等の休業、個人事業主等の特例の場合、20万円以内。その他の場合、10万円以内。	(2人以上)月20万円以内 (単身)月15万円以内 貸付期間:原則3ヶ月以内	(2人以上)月20万円以内 (単身)月15万円以内 貸付期間:原則3ヶ月以内	(2人以上)月20万円以内 (単身)月15万円以内 貸付期間:原則3ヶ月以内
据置期間	1年以内	1年以内	1年以内	1年以内
償還期限	2年以内	10年以内	10年以内	10年以内
貸付利子	無利子	無利子	無利子	無利子

#### 【各種特例貸付件数及び貸付額】(R2.4~R3.3末)

	小口貸付	総合貸付	総合延長貸付	総合再貸付	合計
貸付件数(件)	72	23	9	4	108
貸付額(円)	1,250,000	9,156,000	4,140,000	1,890,000	27,686,000

(2) 緊急一時資金の貸付け事業

低所得世帯に対し、緊急に必要な資金を貸し付けた。

江田島	能美	沖美	大柿	合計
1件	4件	1件	9件	15件

(前年度 33件)

## 2020 度 権利擁護センターえたじま事業実績

自 2020 年 4 月 1 日 至 2021 年 3 月 31 日

### 成年後見制度に関する相談件数

区分	認知症 高齢者等	知的障害 者等	精神障害 者等	その他	計
問い合わせ・相談	91	0	13	2	106

### かけはしに関する相談件数

区分	認知症 高齢者等	知的障害 者等	精神障害 者等	その他	計
問い合わせ・相談	60	18	29	0	107

### 法人後見事業利用者支援件数

区分	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	任意後見	計
利用者数(人)	10	4	2	4	20
延件数(回)	278	130	51	130	589

### 福祉サービス利用援助事業(かけはし)利用者支援件数

区分	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	計
利用者数(人)	38	21	18	1	78
延件数(回)	1,268	871	703	49	2,891

成年後見・かけはし利用者件数

(2021年3月末現在)

種別	項目	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	合計
法定後見	年度当初受任件数	0	1	3	6	9	10	10	16	17	17	18	18	15	14	10	—
	新規受任件数	1	2	4	4	2	4	8	4	2	2	4	2	4	0	5	48
	終了件数	0	0	1	1	1	4	2	3	2	1	4	5	5	4	4	37
	年度末受任件数	1	3	6	9	10	10	16	17	17	18	18	15	14	10	11	—
任意後見	年度当初契約件数	0	0	0	0	1	1	2	3	3	4	4	4	4	3	4	—
	新規契約件数	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	5
	終了件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	年度末契約件数	0	0	0	1	1	2	3	3	4	4	4	4	3	4	4	—
	内発動者数(再掲)															1	—
かけはし	年度当初契約件数	1	1	2	6	13	18	34	36	45	54	67	73	70	67	65	—
	新規契約件数	1	1	4	8	8	19	13	20	19	21	18	10	11	6	13	172
	終了件数	0	0	0	1	3	3	11	11	10	8	12	13	14	8	14	108
	年度末契約件数	1	2	6	13	18	34	36	45	54	67	73	70	67	65	64	—

2020年度 しおかぜネット(オール広島ささえあいネット)事業実績

自 2020年4月1日 至 2021年3月31日

単位:件

	依頼者数	性別依頼者数		依頼総件数	町別依頼件数				内容別依頼件数										活動実績			
		男性	女性		江田島	能美	沖美	大柿	掃除	買い物	調理	洗濯	話し相手	見守り	外出付添 通院付添	草取り	ゴミ捨て	その他	活動	お断り	保留	他
4月	34	7	27	69	22	17	5	25	9	5	0	0	8	0	6	1	37	3	46	0	5	18
5月	26	7	19	53	19	12	3	19	7	1	0	0	0	0	3	1	36	5	49	0	0	4
6月	32	4	28	73	23	17	9	24	16	4	0	1	4	0	4	2	38	4	65	1	0	7
7月	43	7	36	91	24	27	9	31	25	5	0	4	3	0	3	2	41	8	76	4	0	11
8月	42	7	35	95	26	31	6	32	28	1	0	5	3	0	5	7	42	4	80	5	0	10
9月	34	6	28	74	21	21	7	25	25	2	0	1	1	0	3	0	38	4	66	2	0	6
10月	40	6	34	102	29	26	8	39	34	2	0	1	1	1	6	2	46	9	87	1	1	13
11月	43	6	37	122	44	43	8	27	35	8	0	13	2	0	12	3	43	6	112	1	0	9
12月	58	11	47	141	39	49	16	37	46	6	0	13	1	0	8	5	49	13	124	1	0	16
1月	34	5	29	91	27	25	11	28	27	7	0	4	3	0	5	0	40	5	80	0	0	11
2月	37	7	30	93	30	26	8	29	29	5	0	5	3	0	13	0	36	2	82	0	0	11
3月	44	14	30	111	32	26	11	42	36	4	0	6	3	0	17	1	42	2	96	0	3	12
合計	467	87	380	1,115	336	320	101	358	317	50	0	53	32	1	85	24	488	65	963	15	9	128

(前年度依頼総件数880)

(前年度しおかぜ活動実績743)

2020年度 江田島市買い物支援事業実績

自 2020年4月1日 至 2021年3月31日

	秋月地区	幸ノ浦地区	宮ノ原地区	鷺部地区	大須地区	柿浦地区	深江(大附)地区	小用地区	沖地区	全域合計
稼働日数	90 (88)	44 (46)	44 (46)	90 (88)	44 (46)	48 (47)	48 (47)	62 (-)	48 (50)	224 (231)
延べ 来客者数	1,578 (1,561)	164 (149)	1,078 (922)	599 (583)	335 (323)	796 (1,158)	261 (268)	1,259 (-)	2,536 (2,532)	8,606 (7,496)
平均日来 客者	17.5 (17.9)	3.7 (3.3)	23.9 (19.6)	6.5 (6.5)	7.9 (8.5)	16.6 (25.1)	5.6 (5.7)	20.6 (-)	52.6 (51.0)	17.2 (17.2)
売 上	2,400,425 (2,318,785)	243,470 (230,340)	1,299,295 (1,095,045)	862,405 (876,910)	441,465 (530,590)	1,053,715 (1,790,140)	365,790 (442,415)	1,954,855 (-)	4,776,847 (4,427,585)	12,130,384 (11,711,810)
平均客単 価	1,533 (1,462)	1,473 (1,566)	1,219 (1,195)	1,448 (1,515)	1,487 (1,705)	1,362 (1,551)	1,419 (1,656)	1,560 (-)	1,890 (1,752)	1,484 (1,545)
販売業者	(株) 一 光								後河内ストア	
備考	※1 ( ) 内は前年度実績 ※2 小用地区は、令和2年7月より開始。									

## 2020年度 障害者生活支援センター委託相談支援事業実績 (障害者総合支援法)

自 2020年4月1日 至 2021年3月31日

(相談支援を利用している障害者等の人数)

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	233	43	6	75	88	19	1	1
障害児	54	1	1	6	1	45	0	0
計	287	44	7	81	89	64	1	1

(前年度 271)

(支援方法)

	訪問	来所相談	同行	電話等	個別支援会議	関係機関	その他	計
件数	1,110	371	71	1,544	45	2,485	0	5,626

(内メール 154)

(前年度 7,748)

(支援内容)

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	会計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
件数	1,723	207	700	693	45	259	506	807

	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計
件数	241	427	18	0	5,626

### 主催事業

ピアカウンセラー養成講座(ぴあサポートサロン, ピース) 10回

ピアカウンセラー養成講座(ぱすてるの会♪) 10回

社会生活力を高める講座 4回

理解促進研修・啓発事業 1回

### 派遣等

障害者支援区分認定調査 28件(江田島市15件, 江田島市以外13件 ※詳細は下段のとおり)

(広島市6件, 呉市4件, 東広島市2件, 廿日市市1件)

相談支援従事者初任者研修インターバル実習 4件

令和2年広島県相談支援従事者初任者研修(オンライン)

2020年度 第1回 呉安芸地域障害者就業・生活支援センター連絡協議会 1日

手をつなぐ育成会 例会 2回

## 2020年度 暮らしサポートセンターえたじま事業実績

自 2020年4月1日 至 2021年3月31日

### 1 新規相談件数

	10代	20代	30代	40代	50代	60代～	不明	受付 総数
件数	1	2	3	9	14	24	2	55

(前年度 53件)

### 2 新規相談経路

	本人 来所	本人 電話	家族 来所	家族 電話	関係機関 から連絡	自立相談 支援機関 が把握	計
件数	7	12	1	3	32	0	55

### 3 新規相談内容（複数回答）

	病気 健康 障害 介護	収入 生活費	債務 借金	仕事 就職	その他	計
件数	14	33	20	11	29	107

### 4 支援方法（新規・継続）

	電話相談 連絡	訪問 同行支援	面談	支援調整会議 以外の会議	他機関と 電話連絡 協議 会議	計
件数	510	534	248	8	387	1,687

### 5 相談結果（新規）

	情報提供 相談対応 のみで終了	他制度 他機関へ つなぎ	本人未同意 同意に向け 取り組む	継続支援し プラン作成	計
件数	14	15	15	11	55

※プラン作成（自立支援事業 21件・家計相談支援事業 5件・就労準備支援事業 9件）

### 6 就労実績（相談を受け付け、プランの有無に関わらない）

	就労者数	離職数
件数	11	0

2020年度 地域包括支援センターブランチ事業実績

自 2020年4月1日 至 2021年3月31日

月	相談実績等					身体状況別相談実人数					世帯状況別相談実人数				初回相談経路別相談実人数					
	開所 日数	相談 実人数	相談 延人数	訪問 実日数	訪問 実回数	寝たきり	認知症	虚弱	その他	計	独居	高齢者 世帯	その他 の世帯	計	本人	家族	民生 委員	関係 機関	その他	計
4月	21	9	85	16	34	0	0	0	9	9	1	4	4	9	1	0	5	3	0	9
5月	18	11	33	5	5	0	4	0	7	11	5	1	5	11	4	2	3	2	0	11
6月	22	20	91	19	18	0	4	4	12	20	9	2	9	20	4	3	9	3	1	20
7月	21	20	60	12	19	0	7	1	12	20	9	6	5	20	3	5	9	0	3	20
8月	20	18	63	9	14	0	3	2	13	18	11	6	1	18	2	4	8	1	3	18
9月	20	17	56	8	10	0	4	3	10	17	8	0	9	17	1	3	9	4	0	17
10月	22	16	73	12	20	0	5	4	7	16	9	3	4	16	1	6	5	2	2	16
11月	19	14	69	22	28	0	3	2	9	14	5	3	6	14	2	6	2	3	1	14
12月	20	17	55	11	20	0	4	2	11	17	6	4	7	17	2	7	6	2	0	17
1月	19	17	81	5	12	0	5	0	12	17	13	1	3	17	2	3	4	5	3	17
2月	18	13	42	6	15	0	3	1	9	13	9	3	1	13	1	5	1	4	2	13
3月	23	16	57	10	16	0	6	2	8	16	7	6	3	16	2	7	3	2	2	16
合計	236	188	765	135	211	0	48	21	119	188	92	39	57	188	25	51	64	31	17	188

(前年度相談実人数101)

## 2020年度 江田島市社協居宅介護支援事業実績

介護度別利用実人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
要支援1	23	20	18	21	18	18	17	16	16	16	15	14	212	5.0%
要支援2	37	36	36	33	32	34	34	33	31	28	26	28	388	9.1%
要介護1	93	88	95	95	92	94	95	103	100	102	106	98	1,161	27.3%
要介護2	93	91	98	97	99	101	100	100	97	93	93	96	1,158	27.2%
要介護3	65	62	62	67	65	62	65	61	62	64	62	63	760	17.8%
要介護4	28	31	35	32	33	33	30	30	33	33	34	36	388	9.1%
要介護5	16	16	18	17	17	16	16	15	17	14	12	17	191	4.5%
計	355	344	362	362	356	358	357	358	356	350	348	352	4,258	100%

月平均利用実人数 354.8 人 (介護支援専門員 10 名) 35.4 人/CI (前年度 4,355)

年間加算回数

単位：回

加算名	初回	退院退所Ⅰイ	退院退所Ⅰロ	退院退所Ⅱイ	退院退所Ⅱロ	退院退所Ⅲ
請求数	82	8	21	2	1	0
加算名	入院連携Ⅰ	入院連携Ⅱ	ターミナル	緊急カンファ	通院時情報連携	
請求数	48	10	0	0	0	

・算定…居宅Ⅰ (CM1人当たり40件未満/月, 要支援1・2は1件当たり0.5件換算)

・特定事業所Ⅱ加算

## 2020年度 江田島市社協訪問介護事業実績

### 1 介護保険サービス

介護度別利用実人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
要支援1	22	17	19	20	19	20	21	20	19	20	20	20	237	16.2%
要支援2	16	14	20	17	15	16	19	19	17	17	16	18	204	13.9%
要介護1	34	31	36	36	35	36	38	37	39	42	42	41	447	30.6%
要介護2	26	23	26	27	27	29	28	30	33	35	36	35	355	24.3%
要介護3	11	8	8	9	11	11	11	9	10	11	10	11	120	8.2%
要介護4	7	5	6	6	6	6	6	5	5	5	4	6	67	4.6%
要介護5	2	3	3	3	3	3	2	2	3	3	3	3	33	2.2%
計	118	101	118	118	116	121	125	122	126	133	131	134	1,463	100%

月平均利用実人数 121.9 人 (前年度 1,558)

### 2 障害福祉サービス

利用実人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
居宅介護	10	10	12	11	12	12	12	12	12	12	13	13	141

月平均利用実人数 11.8 人 (前年度 127)

### 3 委託 (24時間定期巡回への応援)

利用実人数 (括弧内は訪問回数)

単位：人(回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
江能	3(21)	3(20)	3(25)	3(28)	3(25)	3(23)	3(28)	3(26)	3(24)	3(11)	2(5)	1(4)	33(240)
吉田	1(2)	2(3)	1(3)	1(3)	1(4)	1(4)	1(5)	1(5)	1(4)	1(2)	2(9)	3(36)	23(80)
合計	4(23)	5(23)	4(28)	4(31)	4(29)	4(27)	4(33)	4(31)	4(28)	4(13)	4(14)	4(40)	56(320)

月平均利用実人数 4.1 人 (28.1 回) (前年度 55(887))

## 2020年度 江田島市社協通所介護事業実績

### 1 介護保険

#### 能美事業所

##### (1) 介護度別利用実人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
要支援1	10	9	12	12	12	11	12	11	8	9	9	8	123	12.9%
要支援2	12	12	13	14	13	13	13	15	14	15	15	16	165	17.2%
要介護1	10	9	12	11	12	13	13	15	16	16	18	19	164	17.2%
要介護2	19	19	20	21	19	22	23	23	22	22	23	19	252	26.3%
要介護3	18	14	14	16	15	15	17	16	15	15	15	15	185	19.4%
要介護4	5	6	6	5	3	3	3	2	3	3	2	3	44	4.6%
要介護5	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	3	2	23	2.4%
計	75	70	79	81	76	79	83	84	80	82	85	82	956	100%

月平均利用実人数 79.7 人 (前年度 993)

##### (2) 介護度別利用延べ人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
要支援1	24	21	44	55	46	45	52	42	32	31	33	33	458	6.9%
要支援2	52	51	91	105	90	85	99	103	99	98	99	121	1,093	16.4%
要介護1	46	45	83	77	78	73	89	92	103	101	123	142	1,052	15.8%
要介護2	114	102	167	168	146	166	195	182	185	163	166	174	1,928	29.0%
要介護3	132	100	136	152	142	128	151	134	108	107	105	112	1,507	22.7%
要介護4	52	51	55	51	32	32	29	19	42	33	31	47	474	7.1%
要介護5	4	5	13	13	12	12	13	12	12	11	19	13	139	2.1%
計	424	375	589	621	546	541	628	584	581	544	576	642	6,651	100%

月平均利用延べ人数 554.3 人 (前年度 7,376)

#### 大柿事業所

##### (1) 介護度別利用実人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
要支援1	8	4	7	6	5	6	6	6	5	5	6	6	70	7.9%
要支援2	11	7	8	6	6	6	6	6	6	6	5	6	79	9.0%
要介護1	22	21	24	24	22	20	18	19	19	18	18	19	244	27.8%
要介護2	17	18	20	20	21	24	24	22	19	18	16	17	236	26.8%
要介護3	13	11	13	14	13	13	12	11	11	13	9	12	145	16.4%
要介護4	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	5	5	45	5.1%
要介護5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6	6	6	63	7.1%
計	79	69	80	78	75	78	75	73	69	70	65	71	882	100%

月平均利用実人数 73.5 人 (前年度 966)

##### (2) 介護度別利用延べ人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
要支援1	22	14	26	25	19	23	27	23	21	18	23	27	268	4.0%
要支援2	59	41	48	42	44	38	44	39	36	37	34	42	504	7.7%
要介護1	159	121	168	178	149	142	132	123	131	127	133	144	1,707	26.0%
要介護2	142	113	161	172	178	198	230	193	166	159	150	148	2,010	30.6%
要介護3	115	93	102	107	104	102	105	88	84	78	76	111	1,165	17.7%
要介護4	27	22	30	29	29	35	44	42	38	37	42	50	425	6.5%
要介護5	37	30	43	40	39	45	46	39	42	41	43	49	494	7.5%
計	561	434	578	593	562	583	628	547	518	497	501	571	6,573	100%

月平均利用延べ人数 547.8 人 (前年度 7,626)

### 2 障害者日中一時支援

#### 大柿事業所 (利用延べ人数)

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者	15	14	14	18	18	18	21	17	16	14	17	22	204

月平均利用延べ人数 17.0 人 (前年度 198)

2020年度 江田島市社協福祉用具貸与事業実績

1 福祉用具貸与事業実績

(1) 介護度別利用実績人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
要支援1	44	41	38	42	42	44	45	43	39	41	40	38	497	11.8%
要支援2	51	53	52	52	53	53	56	56	59	57	58	60	660	15.7%
要介護1	66	68	66	67	68	64	72	81	79	78	83	82	874	20.8%
要介護2	86	88	92	91	87	92	92	92	96	98	95	100	1,109	26.4%
要介護3	51	48	46	50	48	52	52	48	49	55	50	54	603	14.3%
要介護4	27	29	31	28	27	25	24	23	23	24	28	30	319	7.6%
要介護5	13	13	14	13	13	12	13	11	10	9	11	14	146	3.4%
計	338	340	339	343	338	342	354	354	355	362	365	378	4,208	100%

月平均利用実人数 350.7 人

(前年度4,129)

(2) 福祉用具別利用実績

単位：台

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
車椅子	72	72	75	79	75	74	72	66	68	69	74	82	878	8.6%
特殊寝台	96	97	99	100	94	103	104	102	109	105	105	111	1,225	12.6%
床ずれ防止用具	20	20	20	24	21	21	22	22	22	23	24	25	264	2.7%
体位変換器	7	5	6	5	6	6	6	6	6	6	6	9	74	0.8%
手すり	362	358	355	368	365	372	380	392	386	396	393	411	4,538	39.8%
スロープ	131	128	136	127	131	121	116	111	119	115	128	134	1,497	15.2%
歩行補助関連	181	173	171	170	167	169	177	180	185	187	182	184	2,126	18.3%
徘徊感知機器	9	6	6	6	5	5	5	4	4	4	4	3	61	0.8%
移動用リフト	9	8	8	8	9	12	11	10	10	10	9	10	114	1.2%
計	887	867	876	887	873	883	893	893	909	915	925	969	10,777	100%

(前年度10,117)

(3) 介護保険適用外福祉用具利用実績人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	40	38	38	36	34	37	36	35	33	33	32	32	424

月平均利用実人数 35.33 人

(前年度513)

(4) 介護保険適用外福祉用具別利用実績

単位：台

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
車椅子	4	4	4	3	3	4	3	3	4	4	4	3	43	7.4%
特殊寝台	35	33	32	32	30	32	31	31	28	29	29	29	371	63.6%
その他	15	15	14	15	14	14	15	15	13	13	13	13	169	29.0%
計	54	52	50	50	47	50	49	49	45	46	46	45	583	100%

(前年度684)

2 特定福祉用具販売事業実績

	実人数	シャワー チェア	ホータブル トイレ	浴槽 手すり	浴槽台	バス ポート	補高 便座	簡易 トイレ	すのこ	計
要支援1	14	8	0	6	7	1	1	0	0	23
要支援2	16	10	0	6	4	2	0	0	0	22
要介護1	28	15	6	7	12	1	1	0	0	42
要介護2	21	6	9	4	6	1	2	0	0	28
要介護3	13	4	8	1	3	2	0	0	0	18
要介護4	6	2	4	0	0	0	0	0	0	6
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	98	45	27	24	32	7	4	0	0	139

(前年度89)

## 2020年度 障害者・障害児サービス等利用計画実績

自 2020年4月1日 至 2021年3月31日

単位：件

### 1. 障害者サービス等利用計画実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規サービス等利用計画	5	2	1	2	0	1	2	3	0	0	2	1	19
更新サービス等利用計画	10	6	9	2	8	8	8	6	5	5	6	5	78
モニタリング実施	16	18	19	19	14	17	19	18	12	22	13	14	201
月合計	31	26	29	23	22	26	29	27	17	27	21	20	<u>298</u>

(前年度 270)

### 2. 障害児サービス等利用計画実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規サービス等利用計画	2	0	1	2	3	0	2	1	0	1	0	0	12
更新サービス等利用計画	7	2	0	1	2	4	3	1	2	1	1	3	27
モニタリング実施	3	2	1	2	5	7	3	0	3	0	4	4	34
月合計	12	4	2	5	10	11	8	2	5	2	5	7	<u>73</u>

(前年度 64)

### 障害者・障害児サービス等利用実績合計

児・者合計	43	30	31	28	32	37	37	29	22	29	26	27	<u>371</u>
-------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	------------

(前年度 334)

## 2020年度 自立支援センターあおぞら事業実績

### 1 福祉事業活動（障害福祉サービス）

#### （1）就労継続支援B型

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者	259	243	284	310	275	283	316	294	310	288	282	324	3,468

月平均利用実人数 289.0 人 (前年度3,744)

#### （2）就労移行支援

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者	36	36	38	24	33	48	59	93	93	83	92	123	758

月平均利用実人数 63.2 人 (前年度 63)

一般就労実績	日付	人数	トライアル雇用	日付	人数
	令和2年7月1日～	1名		令和3年3月1日～	2名

#### （3）生活介護

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
区分3	12	4	8	11	11	11	14	10	13	11	10	13	128	7.8%
区分4	79	60	84	85	75	75	65	54	54	52	52	63	798	48.5%
区分5	63	43	66	65	60	61	64	59	57	59	37	43	677	41.1%
区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	23	43	2.6%
計	154	107	158	161	146	147	143	123	124	122	119	142	1,646	100%

月平均利用実人数 137.2 人 (前年度1,848)

### 2 就労支援事業

	作業実績	(前年度実績)
灯笼作り	売上本数 12,863本	売上本数 17,944本
貝殻通し	通し本数 27,890本	通し本数 23,500本
空缶回収	回収量 2,622kg	回収量 3,817kg
施設外就労	本庁掃除 97回, ATM清掃 12回	本庁掃除 98回, ATM清掃 12回, オリーブ農園作業 15回
その他	靴下端切れマット製作販売, 銀杏販売, 大柿老人福祉センター・桂浜温泉館常設出店, いりこ選別作業, 清掃作業	靴下端切れマット製作販売, 銀杏販売, 大柿老人福祉センター常設出店